

流氷ダイビング

毎年冬に根室海峡へと流れてくる浮氷塊は、経験豊富なダイバーにとって新たなダイビングの機会を与えてくれます。ダイビングツアーの業者がチェーンソーを使って氷の侵入口を作り、ダイバーはそこからドライスーツを着て氷の下へ潜り、氷塊下の生き物を目にすることができます。北の海洋生物の暮らしは暖水域のものと異なり、ダイバーは、一般的に海の妖精と呼ばれる透明のウミムシ、クリオネなど、冷水域の種を見ることができます。

流氷下でダイビングする機械は、世界的にも比較的稀です。浮氷塊は、通常、北極・南極周辺に限られていて、緯度の低い地域では稀にしか形成しません。しかし、北海道北部沖のオホーツク海では、毎年、浮氷塊が発生します。ロシアのアムール川の真水がこの海域に流れ込んできて塩分濃度を低め、氷点上がるためです。オホーツク海の水はアムール川の河口周辺で凍り、その後、分岐して羅臼海岸へと南に向かって流れます。

アイスダイビングのシーズンは2月から3月で、ダイビングに参加するにはオープンウォーター認定証が必要です。水温は氷点下になるため、各潜水時間は20分程度に制限されています。アイスダイビング体験はツアー会社のひとつが実施しています。詳しい情報については観光案内所でご確認ください。ツアー会社のスタッフが基本的な指導を英語で行うこともできます。24時間前までの予約が必須です。